

花札プレイングカードを使用した新規ゲーム企画書

・ゲーム名 『ピン K』

元は一部のギャンブル嗜好家の中で流行したゲームです。

・ゲームルール

プレイヤーには2枚のカードが手札として配られます。

BET が完了したら場に1枚のオープンカードを出します。

プレイヤーに配られた2枚のカードの数字と数字の間にオープンカードの数字が入らなければバーストです。

複数のプレイヤーが手札の数字間にオープンカードが入った場合は手札の強さによって勝敗が決まります。

オープンカード



プレイヤー手札



バースト

・ゲーム進行

テキサスホールデムのレギュレーションがそのまま応用できます。

まず SB、BB が BET 後に各プレイヤーに 2 枚ずつカードを配ります。

この段階で第一のベッティングラウンド。BB の隣の人からスタートしていきます
プレイヤーのできるアクションはテキサスホールデム同様にコール、レイズ（ベット）、
フォールド、チェックです。この際に手札が同じ数字や 1 つ違い（バースト確定）
の場合でも全てのアクションが可能です。

参加者の BET 額が揃ったところで場にオープンカードを1枚出します。

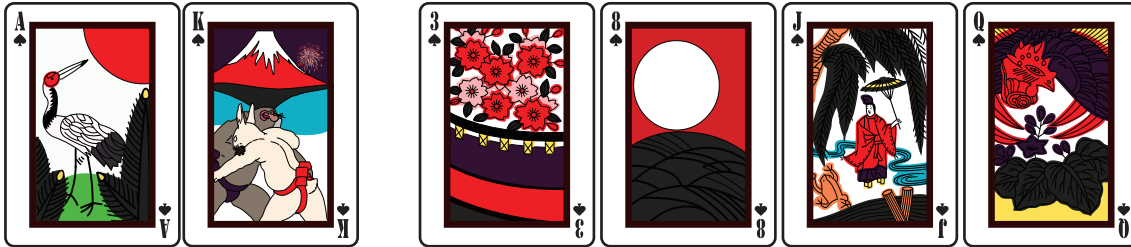
この段階で第二のベッティングラウンド。この際に既にバーストしていてもアクション
は可能です。

残ったすべてのプレイヤーがチェックもしくは同額がポットに入った段階で「ショーダ
ウン」となります。

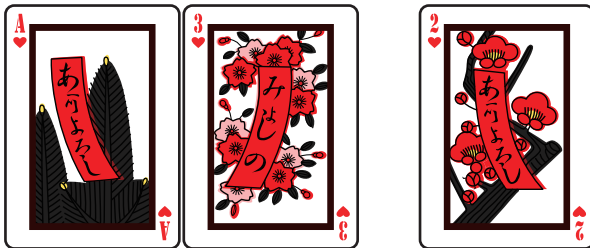
ショーダウン時にすべてのプレイヤーがバーストだった場合は親（ディーラーボタン）の勝利。

バーストしていないプレイヤーが複数いる場合は役の強さで勝敗判定を行います。

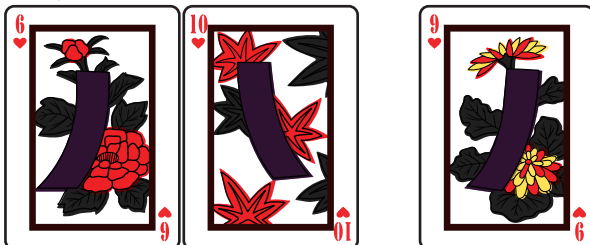
ピン K 三光 - 1と13を含む五光札で手札とオープンカードが構成されている



赤短 - 松・桜・梅の短冊で手札とオープンカードが構成されている



青短 - 牡丹・紅葉・菊の短冊で手札とオープンカードが構成されている

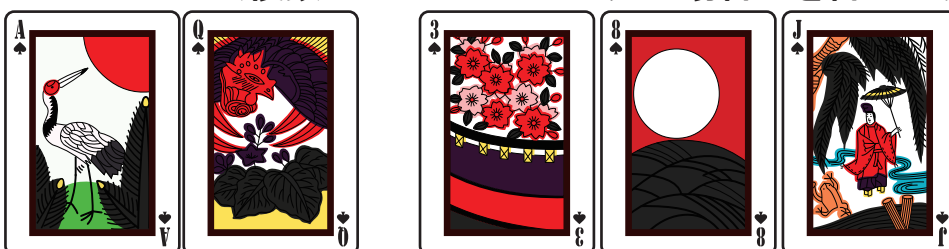


猪鹿蝶 - 牡丹・紅葉・萩のタネ札で手札とオープンカードが構成されている

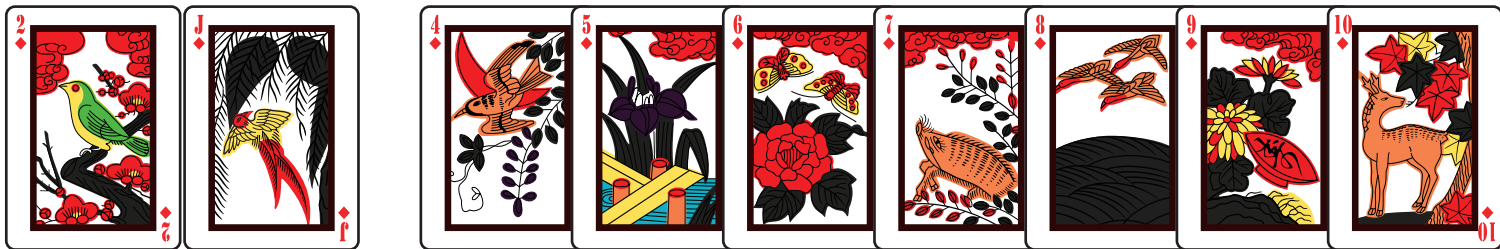


三光 - 五光札で手札とオープンカードが構成されている

（複数のプレイヤーが三光の場合雨を含むほうの負け）



タネ札 - タネ札で手札とオープンカードが構成されている



短冊 - 短冊で手札とオープンカードが構成されている



カス札 - カス札で手札とオープンカードが構成されている



ブタ - バーストはしていないが役ができていない。

花札同様に菊のタネ札（盃）はカス札にもタネ札にもなる。

同列役のプレイヤーが複数いる場合には手札が優位のカードを有しているプレイヤーの勝利。それでも勝敗が決まらない場合はハイカードを所持しているプレイヤーの勝利。

ゲームの特性上ブタ以上の役が完成することは稀であるため、役が完成した場合には祝儀のようなボーナスが与えられることもある。